

ECOMMIT

株式会社エコミット
“国内循環インフラサービス”

11/10/2025

Copyright © ITOCHU Textile & Raw Material Sect 2025

19



ECOMMIT

地球にコミットする循環商社

VISION

捨てない社会をかなえる。

MISSION

不要なものに価値を見出し、
資源をつなぐインフラになる。

11/10/2025

Copyright © ITOCHU Textile & Raw Material Sect 2025

20

ECOMMIT

地球にコミットする循環商社

会社名	株式会社 ECOMMIT (webサイト)
創立年月日	2007年8月17日 (2008年10月1日設立)
本社所在地	鹿児島県薩摩川内市
年間取扱重量	12,000 t (古着約5,000 t) ※2021年度実績
VISION	捨てない社会ををかなえる。
MISSION	不要なものに価値を見出し、資源をつなぐインフラになる。
事業内容	循環型社会に向けたインフラ・システム開発 及びリユース・リサイクル事業

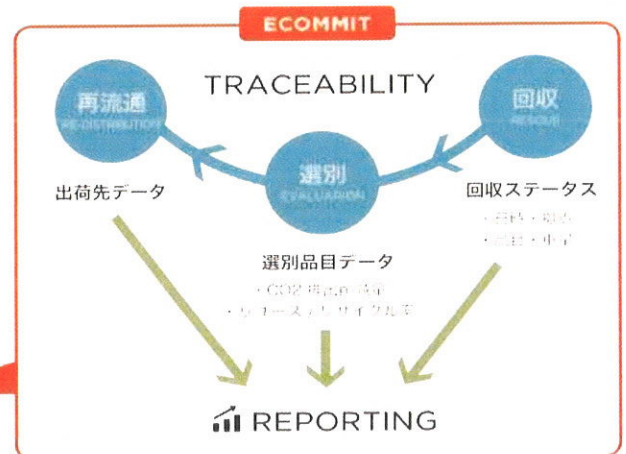
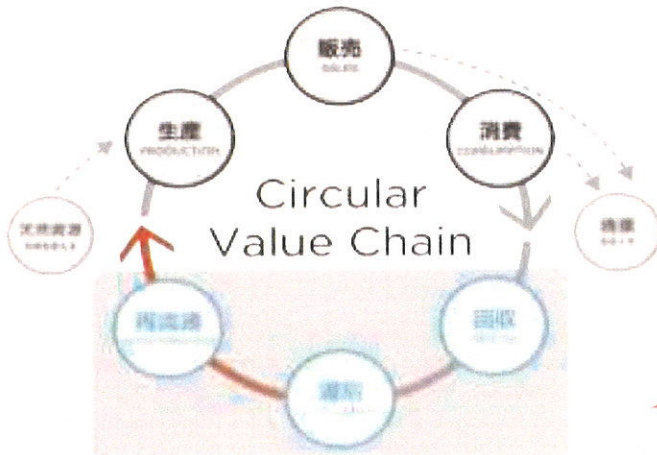
主要株主



伊藤忠商事_資源リサイクルセミナー

ECOMMIT事業概要

不要品の回収・選別・再流通を一気通貫で行うことで、
作り手と共創し、あらゆるものが循環できる社会のインフラを構築しています。



全国対応型の“回収物流ネットワーク”、回収した物の経済的価値を最大限活かす“選別ノウハウ”を持ち、手間の掛かる工程を一括で担うことで、循環のサイクルをワンストップで実現

自社開発のトレーサビリティシステムにより、回収から再流通まで“モノの流れ”をデータ化し、リユース・リサイクル率の算出、CO2削減量をレポートニング

※1: 2025年2月時点
※2: その他、各拠点に自社トラックを保有、産業廃棄物収集運搬業許可保有(全国24都道府県)

年間取扱量

約12,000t

回収拠点

約4,000拠点※1

自治体連携数

約60件

広域処理組合・施設等を含む

物流パートナーシップ

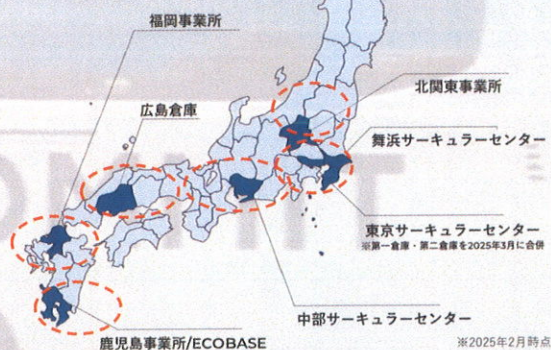
全国で30を超える企業と連携し
物流網を強化しています



※他多数

自社循環センター※2

全国7拠点



特徴①

全国レベルでの対応力

全国7か所の自社センター保有及び
多様な物流パートナーシップにより
取組の持続性を有する

特徴②

多様な品目の取扱

衣類にのみならず生活雑貨など
100品目以上の取扱いが可能

取扱品目

123品目以上



衣類、ファッション雑貨、ゲーム・
おもちゃ、雑貨、電動工具・手工具、家具・
インテリア、食器・キッチン用品、家電

生活に身近な場所で、消費者が手軽に不要品を手放せる場所と仕組み



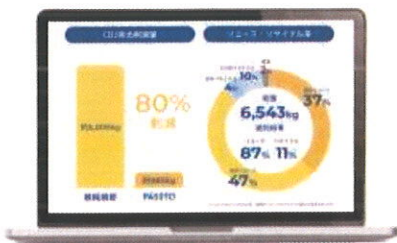
GOOD DESIGN
AWARD 2024

※ボックス設置ではなく対面受取の設置箇所も含まれます。
※上記数値は2024年10月時点の設置拠点数となります。

<p>駅施設 約15か所設置</p>  <p>KEIO</p>	<p>レジデンス 約100物件、 25,000戸、 20社以上設置</p>  <p>三井不動産レジデンシャル MITSUI FUDOSAN RESIDENTIAL</p>	<p>郵便局 関東中心に 約35か所設置</p>  <p>郵便局 POST</p>
<p>ショッピングモール イオンモール・ 全店設置含め、 約230か所設置</p>  <p>イオンモール</p>	<p>ホームセンター ジョイフル本田 全店設置含め、 約20店舗設置</p>  <p>JOYFUL HONDA</p>	<p>アパレルショップ 約1,150か所 設置</p>  <p>ADASTRIA</p>

1

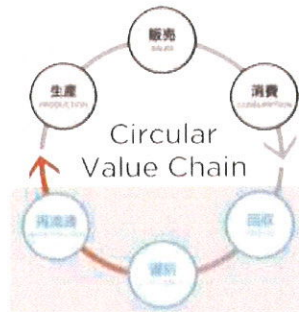
透明性の高い資源循環



取組を通じた資源循環を可視化し、
CO₂排出削減量等をレポート

2

多様な循環を実現※2



単なる衣料品回収から脱却

貴社の事業方針に沿った衣料品等の循環
(リセール、リサイクルアイテムとしての
循環)を実現

3

入会費・年会費不要



コストリーズナブル

既存事業者よりも
コストリーズナブルに取組実施可能
回収品は弊社にて買取

※1：衣類のみが試算対象となっております。 ※2：カスタマイズに応じた単価設定が必要な場合がございます。

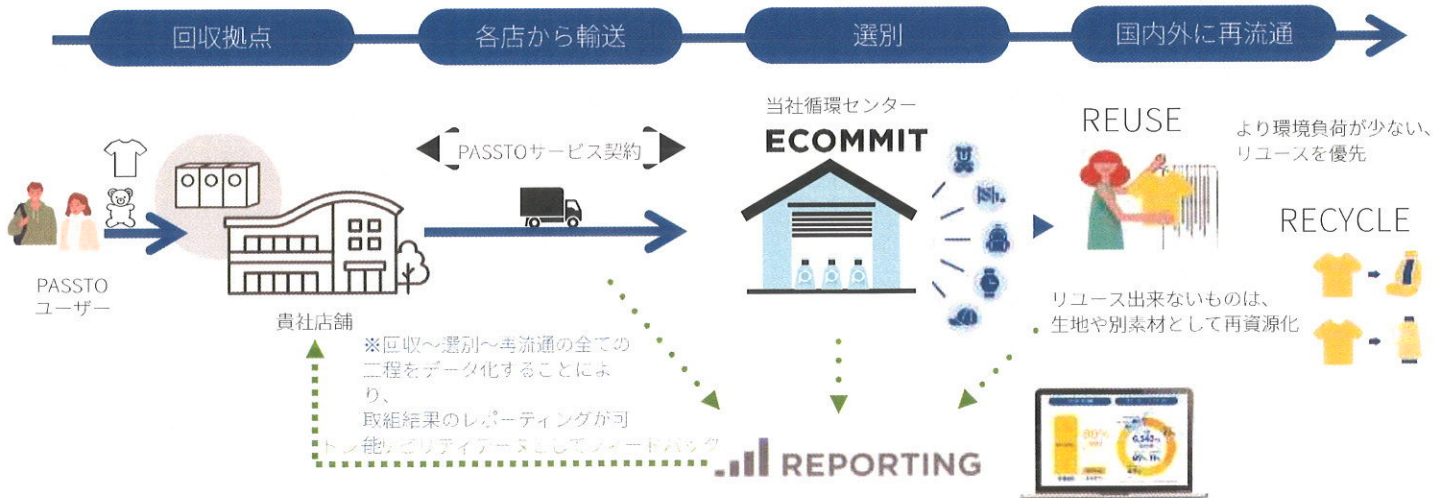
もう使っていないけど、捨てるのは勿体なくて部屋に眠ってしまっているモノ
出来れば捨てるのはないけど、仕方なく捨ててしまっているモノなど

ライフシーンにおける、あらゆるモノに「捨てる以外の選択肢」を提供します。



誰もが簡単に・継続的に循環アクションに参加できる“場づくり”を提供

「最適な循環」を実現し、再資源化率は約98%超¹



※回収～選別～再流通の全ての工程をデータ化することにより、取組結果のレポートニングが可能。トク能力をリアルタイムとしモニタリングが可。